

「飢え渴き！！」

～あなたは何がしたいですか～

詩編 107：1～7

一つの家族がいました。父親は性病、母親は結核を患っていました。その間に生まれた子供は一番目が目が不自由、二番目は病気で死にました。三番目は耳が不自由、四番目は結核でした。そして、五人目の子供を母親は身ごもっています。産むべきか母親は病院に相談に来ました。あなたはどんなアドバイスしますか。と医学部の学生に質問したところ、多くの学生は中絶を勧めると答えたそうです。じつは、これはベートーベンの生い立ちでした。人は今まで悪ければ、この先も悪いだらうと判断してしまいます。確かにベートーベンは耳が不自由でしたが、多くの素晴らしい音楽を残しました。また悪いことが続くといい、中絶していたら、ベートーベンの素晴らしい音楽は生まれなかったのです。私たちクリスチャンは困難に直面した時、どのように立ち向かえばよいのでしょうか。神様の摂理を受け入れて、神に不可能なことは何もないと信じ、乗り越えていくことができるのです。古い価値観と聖書の価値観がバッティングしてしまいます。しかし、ジャイロに立って、歩んで行きましょう。

■ 主の良くしてくださったことを なの一つずつわすれるな

イスラエルの民がバビロン捕囚に遭っていたとき、主に立ち返ろうと呼びかけを詩にしたものです。イスラエルの民は少し良くなると、神に背き、また戻る。を繰り返していました。人は豊かになりある程度の水準になると、目的を失い、生きる理由をうしないます。豊かな生活が当たり前になってしまいます。幸せばけです。これはとても危険です。エジプトで奴隷としてあれだけ酷い労働を課せられていたのを神様が救ってくださったにもかかわらず、文句の連続となってしまうのです。原罪をもって生まれた人間は神様からどんどん離れて、大切なものを捨て去ろうとしてしまうのです。私たちは何か困難に直面したとき、このように、今までと同じやり方をやっけてうまくいくのでしょうか。だからこそ、飢え乾かなければなりません。

■ 奇跡は忍耐があってこそ

ばら寿司は昔、大変貴重なごちそうとして、一年に2回くらいしか食べられませんでした。ですから、一つ一つの食材に感謝して、食べていました。しかし今は何でも簡単に手に入る時代になり、感謝がなくなってしまうました。飽食の時代、人々は当たり前の環境に感謝をすることが出来ないかもしれませんが、神様と共にいる

私たちは、いつでも、感謝、驚きがあるはずです。しかし、それは、戦いがあってこそ起こります。もし、神様がいなくなったら、もし家族がなくなったら、回復したものがなくなってしまって、本当に良いのでしょうか。もし、奇跡をみたいなら、今までと違うやり方をとらなければなりません。神様は難しいことは言っていない。ただ、祈りなさい。感謝しなさい。決断しなさい。これだけです。大変な状況でも、忍耐すれば、すごい奇跡がおきます。そして、問題も解決します。

■ ① どれほどの恵みか

最初に教会に来た時のことを思い出しましょう。どのようにして神様に救われたかどれほどの恵みか思い起こしましょう。のど元過ぎれば熱さ忘れる。になっていませんか。不平不満、忙しさ、人間関係。文句ばかり言っていないでしょうか。教会に来るのは、あなたがどのように神様に愛されて救われたかを心に留め、忘れないためです。

■ ② 何が問題か ～心を探る～

困難にあった時、人のせいにははいけません。なぜ、問題が起きるのか考えてください。人間関係、職場、家庭。同じような問題が繰り返されていませんか。悪魔はあなたのせいだといって、あなたを責め、あなたを変えないようにします。たくさんの人との出会いで、考え方がそうってしまっただけです。ただ、問題に気付いて変わればいいのです。

■ ③ 主に叫べ

今まで、人に向かって指を差し叫んでいました。しかし、これからは、神様に叫びましょう。神様は答えてくださいます。私たちが苦難に遭うのは神様に向くためです。あなたが間違った方向に進んで行ったとき、神様は止めるために鞭を使われます。あなたを叩くためではありません。問題を教えてくださり、間違った道から戻れます。そうすれば、あなたに与えられた役割が輝きます。

まとめ

今の不足に目を向けるのではなく、もう一度私たちは神様にどのように愛されて、今日があるのか思い起こしてください。神に飢え乾けるはず。そして、私たちは問題の中で、主に叫び、飢え渴きを与えられるように求め祈りましょう。

(要約者: 澤口 明子)

(2月7日)